

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒 063-8612 西区琴似2条7丁目1-1
TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2006・8



まちの人



紙切り芸の大道芸人

キリガミスト ちあき
KIRIGAMIST 千陽さん (29)

「KIRIGAMIST」とは「切り紙」と、英語の接尾語「ist (…する人)」を合わせて千陽さんが考えた造語。

ホームページ <http://ip.tosp.co.jp/i.asp?i=chimax2000>



■イベントで切り紙を披露する千陽さん

「はさみと紙でいろいろ作りますよ」。はさみを持つ手も軽やかに、四角い紙からウサギや妖精などを作り出すのは、八軒在住のKIRIGAMIST千陽さん。伝統芸能の紙切り芸をする数少ない女性です。そんな千陽さんと紙切りとの出会いは、幼いころに寄席紙切りの林家正楽さんの芸を見たとき。もともと絵を描くことが好きだった千陽さんは、それから下絵をカッターで切り抜く切り絵も好きになり、高校生の時には切り絵の作品を美術展に出品したこともあったそうです。

短大美術科を卒業後、広告

海外の舞台に立つのが目標

代理店に就職しましたが「自分の作品を発表したい」という思いが強くなり、発表の場を探していたとき、幼いころ見た紙切り芸を思い出したそうです。「はさみと紙があればどこでもできる」と思い立ち、大道芸をやるかと決意しました。「いきなり路上に立つのは怖かったので、まずイベントに出よう」と考え、平成九年、ストリートパフォーマンススカーニバルに初参加しました。その後、皿回し芸の金田一輝雄さんと一緒に福祉施設を訪問するようになりました。初めは観客から「声が聞こえない、大きいものを見せて」などと怒られることもありましたが、その言葉が自分を鍛えてくれたといいます。紙切り芸の醍醐味は「今作ったものに観客がすぐに反応してくれるところ」。子どもからお年寄りまで楽しんでもらえるのも魅力といえます。「観客から拍手を浴びる快感を知ったら、もうやめられなくなります」。

「目標はラスベガスのような海外の舞台に立つこと」と語る千陽さん。これからまたくさんの人を笑顔にするため芸を磨きます。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがき、ファクス、Eメール nishi@city.sapporo.jp、西区総務企画課広聴係(上欄)へ。